

にほんごコミュニケーション

よこはま日本語学習支援センター ～横浜 × 日本語 × 多文化共生～

特集

地域日本語教室の今 ～教室へのアンケート調査から～

横浜で暮らす外国人トークリレー

第2回：バンダリ・マニサさん

連載記事

～コロナ禍における活動の変化・生活の変化～

第2回：外国人保護者の体験を聞いて

お知らせ

オンラインおしゃべり交流会

にほんご べんきょう かた
日本語を勉強したい方は、
はんたい よ
反対のページからお読みください



第2弾!

横浜で暮らす外国人 トークリレー

外国人のみなさんに、

生活の中での日本語との関わりについて話していただくコーナーです。

来日間もない外国人の方たちが直面する問題とは？

日本語を通したコミュニケーションの場をつくるには？

地域に密着した学習環境づくりの大切さが見えてきました。



Profile

バンダリ・マニサさん(ネパール)

日本在住歴：8年 IT企業勤務

留学生として来日し、現在は都内IT企業で働く、バンダリ・マニサさん。学生時代は日本語スピーチコンテストに挑戦するなど、明るくバイタリティにあふれている方です！現在は、横浜市地域日本語教育総合調整会議の委員として力を貸していただいています。(聞き手：H)

日本に来た理由を教えてください

大学2年生の頃、留学をしたいという気持ちが大きくなりました。当初はオーストラリアに、と思っていたのですが、家族の薦めにより日本への留学を決めました。ネパールでは、日本は安全な国というイメージが強いです。来て半年は日本語の面で苦勞し辛い思いもしましたが、それ以降は毎日楽しく、日本に来て良かったなと思っています。

どのように日本語を勉強してきましたか？

日本に来る前、ネパールで日本語学校に通っていました。約1年半勉強したのですが、日本に行っても大丈夫！と思っていたのですが、実際に来てみると、日本人

とコミュニケーションを取ることができず、本当に辛い思いをしました。

来日後も日本語学校に通ってはいいたものの、学校で勉強するのは日常会話ではあまり使わないことばかり。手ごたえの無い日々を送っていたのですが、日常会話を覚えるためにアルバイトを開始。ここでグンと日本語が上達しました！

どのようなアルバイトをしていましたのですか？

とある飲食系の企業で面接補助などの仕事に従事し、その後トレーニングセンターに配属されました。外国人従業員に、接客用語や接客方法を教える部署です。「人に教える」という立場になったことで、日本語が一気に上達しました。

ここに来る外国人は、ほとんどが日本

に来たばかりの人たちでした。その緊張感を少しでもほぐせるよう、できるだけフランクな環境を作るよう心掛けました。研修を受けた外国人の方々からたくさん感謝の言葉をいただき、とても嬉しかったです。

どのような学習支援がある と良いと思いますか？

日本語を勉強していた当時は、外国人と日本人が集まって、コミュニケーションを取りつつ勉強できる場が欲しかったです。それが「地域日本語教室」にあたるものだと思いますが、当時はその存在を知らませんでした。ですので、もっと広く外国人に知ってもらえるような仕組み(SNSを使用したり)があると良いと思います。

また、日本語学習に消極的な人には、地域交流会などの楽しい機会を通して、日本人と接してもらうことが大切だと思います。コロナで大変な時期ですが、いろんな交流会が増えると良いですね。

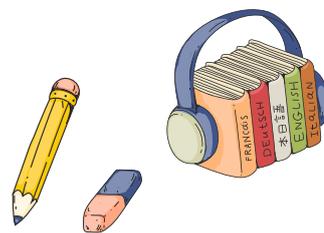
日本語を勉強している皆さんに、アドバイスを！

とにかく日本人と会う機会を作って、「コミュニケーションを通した日本語学習」に触れることを、強くお勧めしたいです。例えば、地域日本語教室に通ったり、国際交流会やボランティア活動に参加したり、公園にいる日本人に話しかけたり(私はよく話しかけていました)……方法は無限にあると思います。もっと言えば、「楽しい」と思えることを通してコミュニケーションが取れると、より自信が持てるようになります。是非自分に合った交流方法を見つけて、「楽しむ」日本語学習にチャレンジしてみてください！

コロナ禍における活動の変化 生活の変化

第2回：外国人保護者の体験を聞いて

YOKEでは不定期で、日本語学習支援者の実践コミュニティ「よこはま・地域日本語実践もちより会」を行っています。10月に行った会では、外国人保護者からの困りごとが話題にのぼりました。



4月の入学式には、ピカピカのランドセルを背負って笑顔いっぱい娘と、家族3人で出かけました。校門前で家族写真を撮ったものの、コロナ禍のため学校内に入る保護者は一人だけで、夫は外で待ちました。集合写真もない簡素な入学式が終わり、入学式翌日から在宅学習となりました。

6月。学校への登校が始まりました。けれども、日本の学校を経験したことのない私には、学校のことがよくわかりません。懇談会など保護者向けの行事もできず、お便りと連絡帳のやりとりから学校のこと

Aさんの困りごと

新1年生の母としての悩み



話し手：Aさん。ベトナム出身の保護者。
上の子どもが、この春小学校に入学しました。
困りごと：コロナ禍で学校行事がなく、学校の制度や決まりがわかりません。

を想像する毎日です。正直なところ、今でも不安が続いています。

7月の個人面談。やっと先生と話せました。私は、特に時間割の「がっかつ」について、教科書はあるのか、どういう授業なのか、聞きたいことがたくさんありました。でも、次の方が待っていて、知りたいことを全部は聞くことができませんでした。

Aさんが感じたこと

外国人ママからのアドバイス

この私の話にも、日本で子育て経験のある、韓国や中国出身のみなさんから共感のことはやアドバイスをもらえました。「同じような経験をしたからよくわかります。」「勇気を出して学校に電話してみてください。夕方の時間帯がいいですよ。」と聞いて、気持ちがとても楽になりました。

下の子は今年の春に幼稚園に入りましたが、上の子と同じ幼稚園ですので、比較的スムーズに溶け込むことができました。学校や園に通わせ経験があるか、学校の仕組みを知っているか、身近に質問したりできる人がいるかどうかなどで、親の気持ちの負担や苦勞も、ずいぶん違うなと思いました。



この連載では、コロナ禍での活動の試み、工夫等、役立つ情報を今後も皆さんと共有していきます。また、YOKEでは、「まちのにはんご伴走隊」事業などを通して、希望する教室に対し個別のサポートをしています。ぜひご相談ください。



相談費用は無料です。詳しくはWEBページをご覧ください。



Aさんの話を聞いて (YOKE)

～経験を共有できる場の大切さ～

日本語がとても上手なAさん。そのAさんでさえ、日本の学校の仕組みや文化の違いに大変な思いをしていることが分かりました。気軽に相談できる人がいればよかったのですが、1年生の保護者に知り合いがおり、その上、ママ友などの知り合いを作る機会がコロナ禍で奪われてしまいました。また、学校に負担をかけたくないと、直接質問することに遠慮があったようです。

このような状況を、日本語支援者の集まりで聞かせてもらい、話し合うことができ良かったと思います。話し合うなかで、気持ちが軽くなったり、前向きになれたり、視野が広がったりする、そんな場でありたいと改めて思いました。

気軽に聞きあえる身近なつながりや、経験したことを共有する場を、今後も作っていったらと思います。



YOKEでは、横浜市内の地域日本語教室・学習支援教室を対象に、9/1現在の活動状況についてアンケート調査を行いました。コロナ禍による「新しい生活様式」が広がるなかで、様々な工夫・検討を繰り返しながら、教室を開催している様子がかがえしました。アンケートにご協力いただいた教室のみなさん、本当にありがとうございました。



多くの教室が活動を再開

YOKEでは、5月と9月の2回にわたりアンケートを行いました。5月の緊急事態宣言発令下でのアンケート調査（2020年5月1日時点）では、回答のあった52教室すべてが通常の教室を中止し、オンラインで教室を始めたのは、わずか2団体でした。

しかし、4か月後の今回の調査（9月1日時点）では、回答のあった73教室のうち、開催している教室は70%（A）となりました。（図1）また開催方法は55%（D）が従来どおりの対面で、そのほか、対面とオンラインの両方を開催している教室は40%（E+F）、オンラインのみは

5%（G）というように、教室の形態もさまざまになりました。（図2）
難しい判断を迫られる中、状況に合わせて様々な工夫と検討を重ねてきた様子がかがえます。

教室の様々な工夫を紹介します

従来通りの「対面教室」では、施設のルールに従った感染症対策が、一方「オンライン教室」という新しい試みでも、学習方法の模索など、いずれにおいても工夫や試行錯誤が必要だったようです。アンケートの回答から、具体的な工夫をご紹介します。

〈対面教室〉

- ・ マスクの着用
- ・ 手指の消毒
- ・ 施設の消毒

その他の感染症対策としては、学習時間を短縮したり、教室への参加を事前申し込み制に変えて定員を管理したり、いままでもよりも広い教室を使って、ソーシャルディスタンスを保つ等の工夫がみられました。

オンラインでの開催も検討しましたが、学習者から対面の希望が出たこと、対面に対応可能なボランティアもたくさんいたので、安全面に配慮しながら教室を再開しました。

〈オンライン教室〉

複数の教室で見られた工夫

- ・ ボランティアを対象としたオンラインの練習会を開く
- ・ オンライン用の教材を貸し出す、作成する、使用する

オンラインでの教室開催に慣れていないため、ボランティア向けの練習会を行った

教室が複数ありました。また、オンライン授業だけでなくメールでの作文添削を行うなど、学習者の環境に合わせた支援を実施する教室もありました。

対面教室は再開せず、オンライン教室のみ行っています。LINEによるTV授業と、メールで作文の添削を行っています。

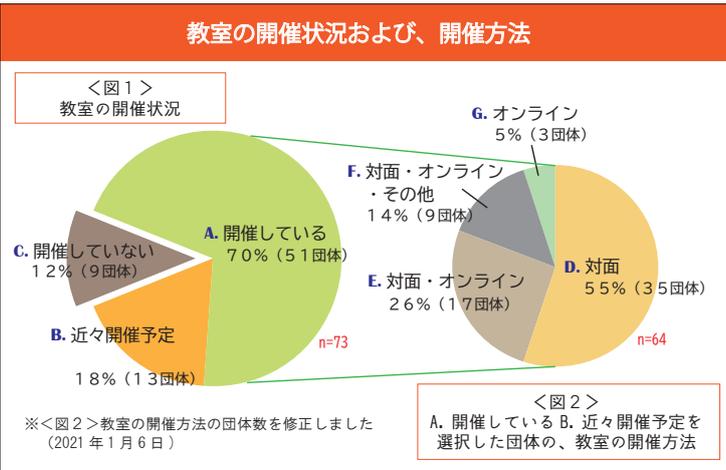
〈対面とオンラインの併用〉

対面教室のみでは人数制限があり、「定員オーバーした学習者にはオンライン授業を行っている」といった教室や、学習者とボランティアの「希望に合わせて使い分けられている」といった教室が見られました。

部屋の定員が少ないため、子どもが教室に来ていても、支援者は自宅からZoomで対応しています。その他、オンライン用教材の準備をしたり、保護者との連絡を密にし家庭の状況を把握する等しています。

対面教室ではフリースペースのほか、有料施設を利用して会場の確保をしています。オンライン教室では、ツールの利用体験会・練習会をかね、オンライン交流会を開催しています。

その他、コロナウイルスや学習支援の情報を教室のホームページで提供したり、開催自粛中もメールで学習者と連絡を取り合うなど、それぞれの教室の特性に合わせた、様々な工夫がなされていることが分かりました。



対面での教室再開例

YOKE日本語教室の様子

コロナ禍で2020年2月末より中止となっていた「YOKE日本語教室」が、9月からおう！私のご横濱のこと」が、9月から再開されました。

教室再開にあたり、安全に活動ができるよう30人の定員を12人に減らしましたが、10か国・地域の学習者が集まりました。感染症対策としてマスクの着用やアクリル板の仕切りなどがある中でも、皆さん、和気あいあいと会話を楽しんでます。コロナ禍でも工夫しながら日本語を学習していたようですが、久しぶりにとる日本語でのコミュニケーションに、多くの喜びの声が上がりました。

教室では、グループに分かれて、トピックで話を展開し授業を進めていきます。「私のお気に入り」「好きな食べ物」「日本に来ておどろいたこと」など、皆さんが興味のあるトピックで話をします。まだ日本語に慣れていない人でも、絵を描いて説明したり、同じグループの人と助け合いながら、とても積極的に話をしていきます。このように、参加した人が知り合うことを大切に、安心して話せる場を作るよう心掛けています。



教室に参加した学習者の声

す。コロナウイルスによる影響はまだ残っていますが、今後も地域日本語教室・学習支援教室の皆さまと情報共有をしながら、安全に配慮した学習支援活動を行っていきたいと思います。

コロナで家において日本語を全然話さなかった。教室が始まって、日本語が話せて楽しい。



日本に来て、すぐコロナが流行って、どこへも行けなかった。今は日本語教室に来て、新しい友達ができ嬉しい！



日常生活や文化など、たくさんのお話を学んだ。いろいろな国の人と友達になった。



アンケートの詳しい結果は、YOKEのホームページに掲載しています。また、YOKEでも、インターネットで学習できるサイトの紹介や、オンラインミーティング開催支援、情報交換会などを通じて、地域の日本語・学習支援教室の活動を応援しています。

< 調査概要 >

- アンケート名：日本語活動状況についてのアンケート
- 実施期間：2020年9月7日～9月20日
- 調査対象：142教室
日本語・学習支援教室データベース（横浜）掲載団体様（地域日本語教室および学習支援教室）
- 回収数：73教室 回収率51%

日本語を話したい外国人の方向け！

オンラインおしゃべり交流会

よこはま日本語 ほっとタイム

「NIHONGOではなそう！」

がスタートします。

毎月第3木曜日 10:00-11:30

2020年11月19日・12月17日

2021年1月21日・2月18日

(予定)

本格開始に先立ち、10月15日にはオンライン交流会を開催しました。日本語が話せる外国人ボランティアの方に参加協力をいただき、終始和やかなムードで進められました。みなさんから「少人数のグループで話せるといい」「小さなグループで話せる時間がもう少し長いほうがいい」

日本語を学習している外国人の方が、横浜にはたくさん住んでいます。けれども今年はコロナの影響で活動を自粛、縮小している地域日本語教室も多く、学習を希望するみなさんにとっては、その機会が減ってしまっているようです。「読む」「書く」「聞く」は一人で学習することもできるかもしれませんが、「話す」特に「対話」練習を一人で行うことは難しいでしょう。そこで今回、オンラインシステムを使い自宅から気軽に参加できる「おしゃべり交流会」を立ち上げました。毎月トピックを設けますが、それに縛られず自由に話を広げていく予定です。

▼「NIHONGOではなそう！」のちらしは、よこはま日本語学習支援センターのホームページや、YOKEのFACEBOOK等でご覧になれます。

▼トライアル交流会の様子。参加者の笑顔がとても印象的です。



いなど、貴重なご意見をいただきました。11月から始まる交流会では、より参加者に楽しんでもらえる会にしていききたいと思えます。日本語会話のレベルは問いません。お近くに、日本語を学習していて「日本語で話したい」という外国の方がいたら、ぜひこの交流会をご紹介ください。

NIHONGOではなそう!

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center

オンラインおしゃべり交流会
よこはま日本語 ほっとタイム

2020年10/15(木)
10:30~11:30

これは がいこじん 向けです。
に
(も **トライアル** んばんです。)

毎月 第3木曜日
2020 11/19
12/17
2021 1/21
2/18
10:30~11:30

もうしこみ ↓

★がいこじんの みなさん
★にほんごを はなしたい人
きてください~

- ・すきなこと
- ・じぶんのこと
- ・日本(にほん)のこと ぜんぶOK!

いっしょに NIHONGOではなしましょう。

(公財)横浜国際交流協会
YOKOHAMA ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL COMMUNICATIONS AND EXCHANGES (YOKE)

https://yokohama-nihongo.com
045-222-1173
c-nihongo@yoke.or.jp

日本語を勉強する…「どこで?」「どうやって?」



日本語の勉強、お役立ち情報 Vol. 2

オンラインで日本語が勉強できるサイト



インターネットの環境があれば、家でも日本語の勉強ができます。全て無料の日本語学習サイトです。

NEWS WEB EASY

やさしい日本語で書いた
NHK ニュース

<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>



日本に住んでいる外国人のみなさんや、小学生・中学生のみなさんが、やさしい日本語でニュースを読むことができます。漢字には、ひらがなで読み方が、ついています。難しいことばには、辞書の説明がついています。ニュースは、音で聞くこともできます。日本語を勉強しながら、新しい情報を知ることができます。ニュースの他にも、災害などについて知ることができます。

出典 NHK
Source NHK (Japan Broadcasting Corporation)

つながるひろがる にほんごでのくらし

日本で生活する外国人
のための日本語学習サイト

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>



日本の生活で使う日本語を、動画を見ながら、勉強することができます。動画は「あいさつ」「買い物」「役所の利用」など、いろいろな場面があります。レベルは3つありますので、自分に合った勉強ができます。好きな場面を選んで、たのしく勉強しましょう。ことばは、日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語の6つのページがあります。

出典 文化庁国語課
Source Japanese Language Division, Agency for Cultural Affairs

横浜市にある、日本語が勉強できる教室

たくさんある教室の中から、オンラインでも日本語が勉強できる教室を紹介します。



神奈川区 ほか

ユッカの会

<http://yukkanokai2014.web.fc2.com/>



横浜・戸塚・東戸塚・本郷台に教室があります
yukkanokai@yahoo.co.jp

1対1で、日本語や学校の教科を勉強します。勉強する日時は相談して決めます。日本語教室のほか、パソコン教室や交流活動もあります。くわしいことは、ホームページの「活動内容」を見てください。

申込み:週1回、1.5~2時間。対面でも勉強できます。希望の場所、時間などをメールで教えてください。申し込みの後、いっしょに勉強するボランティアをさがします。

旭区

にほんご教室 ひろば

<http://futamatagawa-cc.com/>



カトリック二俣川教会
相鉄線二俣川駅 徒歩5分
antonio_h_miura@com.hi-ho.ne.jp

JLPT NI・N2 レベルで、LINE を使ってオンラインレッスンができる方を募集します。3人~8人のグループレッスンのみ。

現在、初級レッスン・対面レッスンはお休み中です。

申込み:①自己紹介(できるだけ詳しく)と②取得しているJLPTが何級かについて、メールで教えてください。レッスンできるか返事します。

※レッスン日:日曜日 15:00-17:00

in Zoom

よこはま日本語ほっとタイム NIHONGOではなそう!

主催: YOKE

毎月 第3木曜日 10:30~11:30
2020年 11月19日・12月17日
2021年 1月21日・2月18日



<https://yokohama-nihongo.com/ynsc/20201102>

日本語で楽しくおしゃべりする集まりです。

- ・なかなか日本語を話す機会がない。
- ・勉強したことばを使ってみたい。
- ・仲間をつくりたい。 など

オンラインでいっしょに楽しくおしゃべりしましょう!
*QRコードから申し込んでください。



TOPIC

地域の「日本語教室」って、どんなところ？ -YOKEの場合

あなたの近くの日本語教室は、ここから探すことができます。



<http://www.yoke.or.jp/jdatabase/search.html>

✓ **日本語を楽しく勉強したい！**

✓ **日本語でたくさん話したい！**

✓ **生活に必要な日本語が知りたい！**

✓ **日本語を勉強している人と友達になりたい！**

横浜で生活をしている皆さんの、毎日使える日本語を勉強するところです。
グループで、1対1で… あなたの好きなスタイルで、日本語を楽しく勉強しましょう！



トピックはレストラン。お店に入るところから、お会計までを練習しました。最後にピザの注文の練習をしました！



サインを交換したり、グループに分かれて、好きな食べ物や日本での旅行の話したり、日本語を使って知り合います。



コロナの対策もしっかり！ステイホームの時に何をしたら話したりしました。皆さん楽しそうな笑顔です！

学習者のみなさんに聞きました。



地域の「日本語教室」
イイところ 教えてください！

生活に密着した日本語が分かる

生活で困ったことをすぐに聞ける

楽しみながら日本語の勉強ができる

人とつながることができて嬉しい！

コミュニケーションスキルがUP！



生活お役立ちコラム



病院に行きたい…でも日本語が分からない…

それなら、コレ！



あなたの言葉で病気のことを伝える、「**多言語医療問診票**」

使い方は、とってもかんたん！

Useful for conveying how you feel in your own language in case of sickness.



多言語医療問診票
MULTILINGUAL MEDICAL QUESTIONNAIRE
<http://www.kifjp.org/medical>

18言語（日本語併記）の問診票がダウンロードできます。



出典：NPO 法人国際交流ハーティ 港南台 公益財団法人かながわ国際交流財団

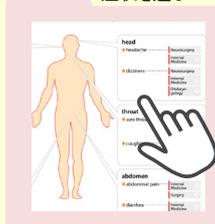
Step1 サイトにアクセス



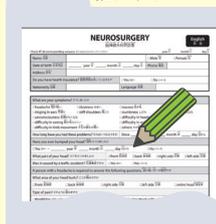
Step2 あなたのことばを選ぶ



Step3 科目もしくは症状を選ぶ



Step4 問診票を印刷、記入する



Step5 病院に行って受付に出す



こまったときは
**横浜市多文化共生
総合相談センター**



045-222-1209
t-info@yoke.or.jp



月曜日～金曜日
10:00～17:00 (受付は16:30まで)
第2・第4土曜日
10:00～13:00 (受付は12:30まで)

横浜で暮らしている外国人から、11の言葉で相談を受けます。相談は0円です。区役所などと電話をつないで、相談もできます。

つながる  よこはま



No. 02
2020. 11 月



にほんごコミュニケーション

Yokohama NIHONGO Support Center

<やさしい日本語版>

TOPIC

ちいき にほんごきょうしつ
地域の「日本語教室」って、どんなところ？
— YOKE の場合 ばあい

● せいかつ やくだ 生活お役立ちコラム：

びょういん い 病院に行きたいとき、どうする？

● にほんご べんきょう 日本語を勉強する「どこで？」「どうやって？」：

NEWS WEB EASY

つながるひろがる にほんごでの暮らし

にほんごきょうしつ しょうかい
日本語教室の紹介



にほんご べんきょう かた
日本語を勉強したい方は、
こちらからお読みください



はっこう にほんごがくしゅうしえん 発行：よこはま日本語学習支援センター (運営：うんえい  こうえきざいだんほうじんよこはましこくさいこうりゅうきょうかい 公益財団法人横浜市国際交流協会)

よこはましにしく 〒 220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 よこはま パシフィコ横浜 よこはまこくさいきょうりょく 横浜国際協力センター 5F ない YOKE 内
でんわ 電話 045-222-1173 ファクシムレ FAX 045-222-1187 メール MAIL c-nihongo@yoke.or.jp